

宗像市文化芸術活動事業補助金交付実績(R5～)

資料1・参考資料

年度	団体名	事業名	事業概要	決定額(円)	事業期間
R5	響きあうアート宗像実行委員会	「響きあうアート宗像」	赤間宿などで約120点の現代アート作品を屋内外に展示し無料開放した。	634,000	1年目/3年
	打楽器トリオ「マスク」	打楽器トリオ『マスク』～0歳からの音楽会～	0歳から入場ができる打楽器アンサンブルの演奏会を開催。クラシックやポピュラー音楽、パフォーマンスマリリンバなど、さまざまな人が生演奏に触れることができる機会を創出した。	350,000	1年目/3年
	むなかた『第九』合唱団	『第九』を通じて音楽があふれるまちを	160人を超える合唱と管弦楽団で『第九』演奏会を開催。ミニコンサートも多数開催し、音楽に親しみやすい環境づくりに取り組んだ。	578,000	3年目/3年 (終了)
R6	響きあうアート宗像実行委員会	「響きあうアート宗像」	第1回芸術祭を映像とパネル、図録などで振り返りながら認知度を上げ、誰もが出会えるアートについて話し合う場を設けた。また、内に秘めた、なりたい自分を発見する仮面・衣装づくりワークショップを行った。	60,100	2年目/3年
	打楽器トリオ「マスク」	親子de楽しもう 0歳からの音楽会 Vol.3 たいそうのおねえさんといっしょ	0歳から入場できる、プロが奏でる打楽器アンサンブルの演奏会を開催。ゲストに体操のおねえさんを迎え、生演奏に合わせて体を動かすプログラムを実施した。	337,000	2年目/3年
	Visions	徳永玲子とVisionsの「絵本と音楽の玉手箱～宗像のたび」	「古事記」に描かれる三姫伝説から、みあれ祭りへと受け継がれる物語を描いた絵本「はるかな島の物語」を3歳の子どもにも伝わるよう演じ、全ての世代の人に宗像の歴史文化を伝えるステージ作りを行った。	552,000	1年目/3年
	宗像落語に親しむ会	上方落語 福岡県人隊 落語会	福岡に縁のある噺家噺8人を招き、落語会を開催。それぞれの噺家の個性あふれる落語や、旬の話題を取り入れた博多にわかなどを披露した。	411,000	1年目/3年
R7	響きあうアート宗像実行委員会	「響きあうアート宗像」	公立美術館のない宗像市において、赤間宿の歴史的空間を活用した芸術鑑賞の機会を創出する。令和8年の第2回芸術祭開催に向けた準備と併せ、講演会や作家連携ワークショップを実施する。	595,000	3年目/3年 (終了)
	打楽器トリオ「マスク」	0歳からの音楽会Vol.4 and マスケウイズ コンサートvol.1	0歳から入場可能な親子向け参加型コンサートと、プロ奏者による打楽器アンサンブルのレクチャーコンサートを開催。世代を超えて打楽器の魅力に触れる音楽体験の場を提供する。	346,000	3年目/3年 (終了)
	Visions	コミュニティ・アート Vol.2 in 宗像	「コミュニティ・アート」をテーマに、絵本と音楽を用いた参加型ステージを2会場で展開する。子どもから大人まで楽しめる内容で、楽器演奏への参加を通じた文化体験を創出する。	549,000	2年目/3年
	宗像落語に親しむ会	第2回 上方落語福岡県人隊 落語会 in 宗像	福岡県に縁のある落語家で構成される上方落語福岡県人隊を招聘し、落語会を開催する。伝統芸能に親しむ機会を提供し、地域文化の継承と普及を図る。	510,000	2年目/3年